

初めてのおにぎり作り

内海 玲惟

ある日、私はお母さんといっしょにおにぎりを作ることにしました。いつもは食べるだけだったけど、今日は私が作ることにになりました。私は上手にできるかなという気持ちでうれしい気持ちでいっぱいになりました。まずはお母さんがごはんをたいてくれました。たきたてのごはんは、ほかほかでいいにおいにして早く食べたくなりました。でも、がまんしておにぎりを作りはじめるとにしました。ごはんを手にとりました。思っていたよりあつくてびっくりにしてなかなかにぎりませんでした。はやくにぎらないと手にくっつくよ。とお母さんが言いました。私はあわててにぎりまじしたが、つぶれたりしてなかなか上手にできませんでした。何回かやっていろうちに三角にできるようになりました。すると、

上手になっ
たね。

とお母さんがほめてくれました。私はとても

うれしくて、また作りたいなと思いました。

全部で七このおにぎりができました。形はへ

んだけど、がんばって作ったのでみんなに味

の感想を聞こうと思いました。お皿におにぎ

りをならべ終わるとお母さんが作っていたス

パゲティもできました。

昼ごはんの時間、みんな

美味しい。

と言って食べてくれました。しおの味がする

か不安だったの、みんなが

美味しい。

と食べてくれて安心しました。次はみんなの

リクエストも聞いて呉も入れてみようと思い

ました。

私はおにぎりをにぎって分かったことがあ

ります。今までは当たり前のようにごはんを

食べていたけど、ごはんには作る人の気持

ちがこもっているということです。農家の

人が作^ってくれたお米をていねいにぎ^って
家族が

っ
おいしいい。

と食べてくれる、そのつながり^がとてもあたた
かいと思いました。

また、お米について調べてみると、いぜん
とくらべて、お米を作^っている田んぼの数が

へ^っていることが分かりました。だからお米
一つ^が一つ^がをていねいに食べ、お米を作^っ

ている人への感謝^しを忘れないようにしたい
と思います。これからも時々おにぎり^を作

っ
て家族を笑顔にしたいと思います。